



師走は「しわす、しはす」と読み、その意味・由来・語源には諸説あります。もっとも有名な説は、師匠である僧侶が、お経をあげるために東西を馳せる月という意味の「師馳す（しはす）」だということです。この「師馳す」は、平安末期の「色葉字類抄（いろはじるいしょう）」の説明によると民間語源とされ、現代の「師走」は、この説をもとに字が当てられたと考えられています。

2023年度の住宅着工戸数は0.5%微増の85.9万戸と予測



建設経済研究所と経済調査会経済調査研究所は、2022・2023年度の民間住宅投資額と新設住宅着工戸数の予測を行いその結果を公表しました。

この調査は2022年4月～6月までの速報値をもとに建設投資額を予測しています。

2022年度民間住宅投資は前年度より3%増加し、16兆5,700億円と予測しています。建設コストの上昇により名目値ベースでは増加となりますが、民間需要は減退し新設住宅着工戸数の減少があり、実質値ベースでは前年度水準を下回る結果と見とえています。

一方2023年度は、賃貸住宅や大都市圏の分譲マンション着工戸数が回復すると見込まれ、投資額は前年比プラス22.5%の16兆9,900億円との予測となりました。

2022年度の住宅着工戸数については、2022年度の住宅着工戸数は前年比マイナス1.3%となり、85.4万戸と予測しています。2022年4月まで14か月連続で増加していましたが、資材価格の高騰により建設コストがアップし5月からは減少しています。

また2022年4月までの結果において、持ち家着工戸数は7か月連続で伸び悩んでおり、注文住宅大手は受注状況が厳しくなっている面もあり、前年比マイナス4.9%を見込み26.8万戸と予測しました。

貸家着工戸数は前年度比プラス1.3%の33.5万戸と予測、2022年7月まで17か月連続増加しており、金利上昇の見込みを背景とした需要の前倒しが期待されます。一方、建設コストの増加は投資マインドを冷え込ませる影響があり、そのマイナス要因を踏まえて微増と予測しています。分譲住宅着工戸数は全国的に弱含みが予測されるため、前年比マイナス1.1%の24.6万戸と微減する見とおしです。

2023年度は緩やかですが持ち直しが見込まれ、前年度比プラス0.5%の85.9万戸が予測されます。このうち持ち家着工戸数は前年度比マイナス1.6%の26.3万戸、貸家着工戸数はプラス0.4%の33.7万戸と予測しました。

分譲住宅着工戸数は大都市圏における需要回復が見込める一方、戸建は前年度と同じ水準と想定され、分譲住宅全体では前年度比プラス2.4%の25.2万戸と予測しました。

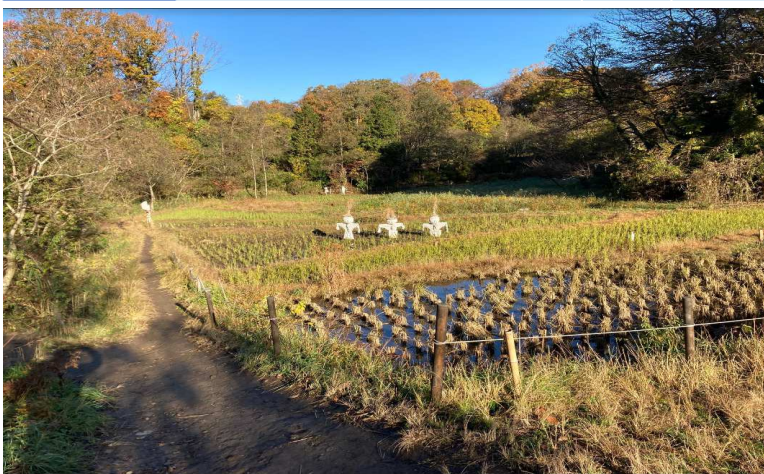
元記事は新建ハウジング

第22回

🚶 今度もウォーキングにお付き合いください

三成 哲也の

ウォーキング日誌



2022年11月20日 6:00港南台自宅出発 当てもないウォーキング

今日は目的地もなく足が向くまま歩くことにした。鎌倉街道を横浜方面に歩く。日野インター手前に「ドン・キホーテ」がある。30年前位は確か「ダイクマ」があったような気がする。ダイクマは車用品やゴルフ用品等、家電も含めほぼ何でも安いディスカウントショップだった。まだここにダイクマがなかった頃は、茅ヶ崎や大和のダイクマにも買い出しに行ったような覚えがある。

その後、日野のダイクマはヤマダ電機となり現在はドン・キホーテだ。鎌倉街道から環状2号線に足を向けるこの街道は大きな店舗もなく、殺風景な景色

が広がる。強いて挙げれば「イエローハット」くらいか。殺風景な景色を嫌って上永谷駅方面に向かう。上永谷駅を通り過ぎ「舞岡駅」へ。この舞岡駅こそ殺風景な駅だ。駅周辺に商業施設も何もない。ただ駅がポツンとあるだけ。私自身もこの駅を利用したことが一度もない。

この殺風景な駅を過ぎ道岐橋の信号を左折して「舞岡公園」に向かう。道の脇を流れる小川のせせらぎがとても心地いい。小川沿いに歩いていくと、民家はなくなり、落ち葉の絨毯の上を歩くサクサクという自分の足音しか聞こえない。もうここは舞岡公園内であろう。この公園はとても大きく、公園内に古民家もあれば水田もある。この時期は既に収穫は終わっているだろうが。

山あり谷あり沼あり目を十分楽しませてくれる。田んぼの脇に「案山子」もいくつか立っている。もう何十年も前に子供を連れてきたことがある。古民家に竹馬とかおはじきとか昔の遊び道具があり、自由に使ってよかった。竹馬に挑戦してみたが、意外と難しかったことを覚えている。古民家が開いていれば、もう一度竹馬に挑戦してみたい気がしたが、さすがにこの早朝では閉まったままだ。ちょっと残念だ。今度は孫と一緒に来て爺が手本を見せてやろうか、いやいやこの歳で運動神経も衰えて手本は示せないであろう。

この広大な舞岡公園は1時間では到底まわりきれない。時間はもう8時30分を回っている。ここから自宅まで歩くには、多分1時間以上かかるだろう。今日のウォーキングはここ舞岡公園でおしまいにしてバスで帰ることにしよう。舞岡公園から少し歩いたところにバス停があった。幸い上永谷駅經由港南台駅行きのバスだ。乗客は私以外にお年寄りがひとりだけ。何という過疎路線と思いきや上永谷駅手前から混み始め上永谷駅ではほぼ満席となった。久しぶりのバスだ。なぜか子供のようにウキウキする。このバスが通る道を何度となく歩いているが、歩きながらみる景色とバスの車窓から見る景色はちょっと違う。

短い時間のバスの旅であったが発見が随所にあった。